

札幌まるやま自然学校 2022 年度事業報告書



主催事業1

イエティくらぶ「イエティーズ」(対象：幼児保護者向け)

■概要

「自然と人のつながり」「生命への気づき」「多様性への認識」「感覚の発達」「コミュニケーションの向上」「運動能力の発達」を幼児が自然の中で育むこと、子育て環境としての「森・自然」を大人に再認識してもらうことをねらいとして、札幌市内の自然公園などを中心に実施した。

子どもたちに「提供しすぎない」ことをテーマにし、一つのテーマがありながらも活動中に自分でやりたいことの意味決定ができる「自由の時間」を多く設けた。

■実施内容

	日時	プログラム名	活動場所	参加者		スタッフ
				子ども	大人	
1	4/23(土)	さがそう はるのようちえん	円山公園	3	2	2
2	5/8(日)	こもれび もりのようちえん	旭山記念公園	5	4	2
3	6/12(日)	すいすい やごのようちえん	西岡公園	12	10	2
4	7/10(日)	パシャパシャ かわのようちえん	福井緑地・左股川	14	13	5
5	8/20-21 (土・日)	のんびり おとまりようちえん		0	0	0
6	9/25(日)	コロコロ きのみようちえん	藻南公園	5	3	2
7	11/12(土)	パチパチ たきびようちえん	旭山記念公園	6	3	2
8	12/18(日)	ウィンターパーティー	旭山記念公園	11	7	3
9	1/15(日)	ほりほり かまくらようちえん	旭山記念公園	7	4	3
10	2/19(日)	ふかふか もりのようちえん	福井清流会館	4	3	1
11	3/6(日)	イエティくらぶ交流会 「WONDER SNOW」	モエレ沼公園	25	15	2
			合計 11 回	92	64	24

主催事業2

イエティくらぶ 「月例スクール」 (対象：小学生以上)

■概要

『自然に遊んで、自然に学ぶ』をコンセプトにプログラムを展開した。子どもたちにとって学ぶことは遊ぶことの一部である、という思いから、プログラムのなかに『遊ぶために道具を使いこなす』『人とコミュニケーションをとる』『自分のことは自分でやる』ということ意識した活動を取り入れ、主催者側が準備や用意をしすぎない、参加者自信が主体的に考え行動することを目指して実施した。

■実施内容

	日時	プログラム名	活動場所	参加者		スタッフ
				子ども	大人	
1	4/10(日)	まだまだあそぶぞ残雪ツアー	蓬萊山	10	3	1
2	5/15(土)	こもれび 1day プレイパーク	旭山記念公園	8	4	2
3	6/19(日)	春はぼかぼか 秘密の広場	北区・福移河川敷	9	3	3
4	7/3(日)	夏の川で生き物探し	左股川	14	9	4
5	8/16-18 (火-木)	黒松内ウォーターアドベンチャー ※追加プログラム	黒松内	6	0	0
6	8/28(日)	夏の川で生き物探し ※追加プログラム	左股川	9	4	1
7	9/10-11 (日-月・祝)	秋のおたのしみキャンプ	千歳市・イコロの森	6	0	3
8	10/15(日)	かがやく秋の森たんけん	北区・福移河川敷	7	2	2
9	11/23 (水・祝)	いつでもどこでも遊べる隊	旭山記念公園	12	5	3
10	12/11(日)	トレジャースノーハンティング	中山峠	3	0	2
11	1/29(日)	つくろう 雪の秘密基地	旭山記念公園	12	7	1
12	2/23 (木・祝)	スノーミステリーツアー	藻岩山	9	2	2
			合計 12回	105	39	24

主催事業3

イエティくらぶ「トレッキングくらぶ」（対象：小学生以上）

■概要

『地球を歩く』をコンセプトに登山を通してライトな行動技術を学び、仲間とのコミュニケーションや協力意識を高めることを目的とした。子どもにとってわかりやすい達成感は満足度が高く、忍耐や努力、自分と向き合い自分自身の壁を乗り越える力を育てるのに役立っている。また保護者の参加も多くトレッキングでの適度な運動と自然の中で過ごすことでリフレッシュできることを楽しんでいた。

■実施内容

	日時	プログラム名	活動場所	参加者		スタッフ
				子ども	大人	
1	4/24（日）	おためし trek～三菱山～	三菱山	13	9	1
2	5/29（日）	spring trek～奥三角山～	奥三角山	1	0	1
3	6/26（日）	summer trek～塩谷円山～	塩谷円山	8	4	2
4	7/9（日）	challenge trek～雨竜沼湿原～ 行先変更：銭函天狗山	銭函天狗山	2	0	1
5	8/11(木祝)	山の日 trek～赤岩山～	赤岩山	7	4	2
6	9/10-11（土・日）	special trek～ニトヌプリ～	ニトヌプリ	1	0	3
7	10/16（日）	autumn trek～万計沼～	空沼岳	6	3	2
8	11/3（木・祝）	親子 trek～三角山～	藻岩山	4	2	2
9	1/3（水）	あけましておめでとざん～三角山～	三角山	4	4	2
10	1/22（日）	winter trek～盤溪山～	磐溪山	4	2	3
11	2/12（日）	winter trek～西野市民の森～	西野市民の森	10	2	2
			合計 11 回	58	30	21

主催事業4

イエティくらぶ 「のらっこくらぶ」 (対象：幼児・小学生とその保護者)

■概要

また食の安心・安全への理解を深めるために自然栽培で野菜を育てている「ときの森」と農薬を使わずにお米を作っている「札幌南ふゆみずたんぼの会」と連携し、「畑」「田んぼ」2つのフィールドで農作業とそこで過ごすことをメインとしたプログラムを展開した。参加者は働くということを新鮮に受け止め、作業後の田んぼや畑で過ごすゆったりとした時間を楽しんでいた。

■実施内容

	日時	プログラム名	活動場所	参加者		スタッフ
				子ども	大人	
1	5/22(日)	畑の探検隊☆春の畑でひなたぼっこ	ときの森	12	11	2
2	6/5(日)	ふゆみずたんぼで田植えをしよう!	南区・石山	10	9	2
3	7/16(土)	ふゆみずんぼでいきものウォッチング	南区・石山	11	10	2
4	8/7(日)	畑の探検隊☆畑の生き物探し	ときの森	7	7	2
5	9/4(日)	畑の探検隊☆畑でレストラン	ときの森	8	7	2
6	10/2(日)	ふゆみずたんぼで稲刈りしよう!	南区・石山	11	9	2
7	10/23(日)	畑の探検隊☆ときの森でおいもほり	ときの森	10	6	4
8	11/6(日)	ふゆみずたんぼで脱穀しよう!	南区・石山	9	8	2
9	12/4(日)	稲わらクラフト&新米を食べよう!	南区・石山	7	5	2
10	2/5(日)	自然栽培のお豆さんで味噌作り	福井清流会館	9	6	3
			合計 10回	94	78	23

主催事業5

イエティくらぶ 「otosoto～おとなのそとあそび～」 (対象：会員保護者)

■概要

保護者同士の交流をテーマに大人の野外体験プログラムを平日に3時間程度開催した。保護者のニーズに合わせ「食」「運動」「健康」「知的好奇心」などをテーマにプログラムを実施した。普段聞けない子どもたちの様子などをお互いに共有できるいい機会となっている。

■実施内容

	日時	プログラム名	活動場所	参加者		スタッフ
				子ども	大人	
1	4/25(月)	春の野草さんぽ&	福井清流会館	0	5	3
2	5/9(月)	北大春の自然観察会	北海道大学	0	7	5
3	6/13(月)	いしかり潮風さんぽ	はまなすの丘公園	0	5	3
4	9/26(月)	おとなのアウトドアクッキング	藻南公園	0	9	6
5	10/24(月)	秋の紅葉ハイキング	北海道大学	0	6	5
6	11/21(月)	手仕事茶話会	福井清流会館	0	5	6
7	1/16(月)	スノーシューハイキング	旭山記念公園	7	6	2
8	2/13(月)	冬の焚き火会	旭山記念公園	2	10	3
			合計8回	9	53	33

主催事業6

イエティくらぶ 中長期休みキャンプ（対象：小学生以上）

■概要

中長期休みを利用して1泊～3泊で各自然学校の協力を得ながらキャンプ事業を実施した。各地域の特色・スタッフ・地域資源などを活用し、子どもにとっても地域とのつながりが生まれることを意識した。その結果季節を変えて同じ地域へリピートする子どもなども生まれるきっかけとなっている。

■実施内容

	日時	プログラム名	活動場所	参加者		スタッフ
				子ども	大人	
1	4/2-3（土-日）	イコロ スプリングハズキャンプ	イコロの森	8	4	2
2	4/29-5/1（金-日）	東川GW お花見&雪見キャンプ	東川町	5	0	2
3	5/3-5（火-木・祝）	黒松内春のカヌーツーリングキャンプ	黒松内町	11	0	2
4	7/25-26（月-火）	ぬまた 生き物ふれあいキャンプ	沼田町	5	1	2
5	7/28-31（木-日）	てしかがキャラバンキャンプ	弟子屈町	4	0	2
6	8/2-4（火-水）	のんびり るもいキャンプ	留萌市	8	0	3
7	8/13-15（土-月）	東川なににする？キャンプ	東川町	5	0	2
8	12/25-27（日-火）	ぶなもりだくさん雪あそびキャンプ	黒松内町	10	0	3
9	12/29-30（木-金）	沼田初めてのウィンターキャンプ	沼田町	3	2	2
10	1/4-7（水-土）	てしかがワイルドライフキャンプ	弟子屈町	6	0	2
11	1/10-13（火-金）	キャラバンキャンプ 大雪山 to 日本海	東川町、留萌市	7	0	2
12	3/18-19（土-日）	イコロの森 はたらくキャンプ	イコロの森	4	0	2
13	3/30-4/2（土-月）	るもいクッキングキャンプ	留萌市	9	0	3
			合計 14 回	65	5	27

主催事業7

日帰り主催活動（対象：幼児・小学生とその保護者）

■概要

昨年から引き続き、コロナ禍において心身の健康維持活動として、少人数、密を避けた活動場所、短時間という3本柱をすえた活動を受託事業の中止や延期で空いた日程を利用して実施した。ただ昨年度よりも主催事業や受託事業が通年を通して実施できたこと、日常生活が通常に戻りつつあったこともあり、回数と参加者は減少傾向となった。

■実施内容

	日時	活動内容	場所	参加		スタッフ
				子ども	大人	
1	8/8（月）	サマースクール@イコロの森」	イコロの森	7	0	1
2	8/9（火）	サマースクール@旭山記念公園	旭山記念公園	1	1	1
3	8/17（水）	サマースクール@旭山記念公園	旭山記念公園	7	0	2
4	2/5（日）	日帰りそとあそび@福井清流会館	福井清流会館	4	1	1
			合計4回	19	2	5

受託事業1

ここいく 放課後自然体験プログラム

■概要

小学生を対象とした放課後自然体験プログラムとして、円山動物園と円山公園・円山原始林を活動フィールドに、毎週火曜日と木曜日に活動を行っている。今年度は毎月のスペシャルプログラムを2ヶ月に1回のペースで再開することができ、動物園との連携プログラム、活動場所の変化、川あそび、専門学校の連携プログラムなども実施できた。

■実施内容

○日時：2022年4月～2023年3月（年間78日）

毎週火・木曜日（夏・冬・春休みを除く）15:00～18:00

○参加者：火曜日9～11名 木曜日10～12名

○活動場所：札幌市円山動物園、円山公園、荒井山、ユースの森、旭山記念公園

○活動内容：動物観察、自由遊び、木登り、葉っぱ集め、雪合戦、しりすべりなど

受託事業2

幼稚園・保育園における自然体験活動講師

■概要

園外活動の講師として自然の解説、自然遊び、自由遊びのサポートなどの立場で関わっている。実際の現場では、場所、天候などから判断し、臨機応変な活動を保育士と創りあげている。また子どもたちと切り切り体を動かして遊ぶ役割を求められている園もあり、活動内容は様々である。

	名称	実施内容	年間回数
1	大谷第二幼稚園	年少～年長児の野外活動	60日
2	大谷オアシス保育園	年少～年長児の野外活動	25日
3	大谷幼稚園	年中～年長児の野外活動	21日
4	コープさっぽろ保育園 アウリンコ元町	1～3歳児の野外活動	11日
5	コープさっぽろ保育園 白樺アウリンコ	1～3歳児の野外活動	6日
6	東川下ぼっぽ保育園	年少～年長児の野外活動	18日
7	子どもアカデミー	スペシャルプログラムの実施	1日
		合計7園	142日

受託事業3

小学校を対象した自然体験活動プログラム

■概要

小学校の総合学習で行う森林学習や宿泊学習プログラムなどの対応を行なった。活動場所に実際にある自然物を利用することで子どもたちの実体験と理解を促す仕組みを意識して実施した。

■実施内容

	日時	学校名	実施内容・場所	参加人数
1	6/21(水)	刈雁小学校	総合学習木育活動 @湯川公園	90名
2	6/22(水)	手稲東小学校	宿泊学習ネイチャーウォークラリー @滝野すずらん公園	90名
3	1/28(土)	手稲東小学校	時習館活動「雪中運動会」 @学校グラウンド	50名
			合計3校	230名

受託事業4

藻南公園イベント

■概要

藻南公園近隣住民を対象にした、南区もなみ公園主催プログラムの企画立案・進行などを行なった。散策路や森の利活用として森林整備を取り入れ、次年度も継続的に行える内容を意識して実施した。リピーターの方も多く、今後もより地域の方とのつながりが期待できるものとなった。

■実施内容

	日時	イベント名	実施内容	参加人数
1	6/11 (土)	森の整備	風倒木の処理、ウッドチップしき	10名
2	7/23 (土)	虫捕り名人になろう	生き物探し、生き物観察	15名
3	9/23 (土)	森の整備 ※悪天候により中止	風倒木の処理、森の広場作り	0名
4	10/22 (土)	小さな秋見つけた	森の整備、クラフト	15名
5	2/4 (土)	雪あそび in もなみ	雪中レク&秘密基地づくり	15名
			合計5回	55名

受託事業5

事業所交流プログラム

■概要

聴覚障がい児が通うデイサービスにおいて自然体験プログラムを実施した。「見る」「触る」「動く」などを意識しながら、自由に子どもたち自身が活動を選択できることを意識して実施した。自然が身近であること、野外で過ごすことの楽しさや奥深さを体験してもらった。

	日時	場所	実施内容	参加人数
1	5/21 (土)	旭山記念公園	薪割り、焚き火、せんべい作り	15名
2	8/9 (火)	事業所	クラフト2種体験	15名
3	11/19 (土)	旭山記念公園	薪割り、火おこし、ロープ遊び体験	15名
4	2/17 (土)	エルムの森公園	アイスクリームづくり&秘密基地づくり	15名
			合計4回	45名

受託事業 6

留萌「るしんふれあいパーク」プログラム事業

■概要

留萌市にある「るしんふれあいパーク」で小学生を対象にした自然体験プログラムを実施した。悪天候による延期日程などもあったが年間3回実施した。

	日時	場所	実施内容	参加人数
1	7/1 (土)	海に山に	薪割り&火おこし	7名
2	11/25(土)	海に山に	焚き火クッキング	10名
3	1/20(土)	るしんふれあいパーク	木工クラフト&雪遊び	5名
			合計3回	22名

受託事業 7

木育イベント（ツルハドラッグ・P&G共同企画）

■概要

ツルハドラッグでP&G商品を購入した方を対象としたツルハドラッグとP&Gの共同企画「木育オンラインイベント」で企画運営を担当した。今年度は北海道だけでなく全国から募集を募り50組100名での木育プログラムとなった。当日は木育マイスターと自然学校のネットワークを活用し、「木や森の話」や「コロコロボードゲーム作り」などを指導した。

■実施内容

- 実施日：2022年10月29日（土）
- 場所：オンラインでの実施
- 参加人数：親子50組/100名

人材育成事業1

北星学園大学

■概要

「持続可能な地域社会の推進」に貢献でき、自主・自律的な人材が育つ場を創出することを目的に、子ども自然体験活動プログラムに大学生を実習生として受け入れた。受け入れるプログラムは、月例スクール(小学生を対象)とイエティーズ(幼児と親を対象)である。また「木育」を選択した学生には木育マイスターとして野外体験プログラムを実施した。

■実施内容

- 1、北星学園大学 心理・応用コミュニケーション学科 単位実習 学生2名
イエティーズにカウンセラーとして参加、研修におけるコミュニケーション能力や態度数項目における評価を行った。
- 2、北星学園大学 心理・応用コミュニケーション学科 木育講義2コマ 学生10名
木育をテーマに選んだ学生に対して、学校内の森林を活用したアクティビティ実習を行った。

人材育成事業2

美専学園 北海道芸術デザイン専門学校 非常勤講師

■概要

学生のコミュニケーション能力向上と専門学校と外部企業連携という目的のもと、プログラムづくりの企画・運営・実施のノウハウに関する授業を行った。授業の成果として学生が作り上げた体験プログラムを「ここいく」で実施してもらった。

■実施内容

環境デザイン学科 クラフトデザイン専攻 単位実習
学生：15名 期間：2022年10月～11月(6回)

人材育成事業3

北海道科学技術専門学校 自然環境学科 非常勤講師

■概要

自然環境学科1年生野外活動論、2年生インタープリテーションの授業を行っている。1年生では野外活動技術の基礎を体験を交えながら行い、2年生ではガイドプログラムを作ることを目的として、視覚化する作業やプログラムの企画・立案・プレゼン発表などを行なった。また今年度の2年生の授業において小学校の宿泊学習プログラムを企画し、実際の小学生を対象に学生たちが実施する場を持つことができた。

■実施内容

自然環境学科1年生 野外活動論：10名
自然環境学科2年生 インタープリテーション：11名
期間：2022年4月～2023年2月 各25コマ

人材育成事業4

各種研修生受け入れ

■概要

各プログラムでは開かれた運営を目指しており、他地域からの視察対応や研修生の受け入れなどを行っている。

■実施内容

- 1、 木育マイスターOJT受け入れ 5名
藻南公園イベント、ここいく、イエティーズなどでの受け入れ

次年度に向けて

今年度も大きな事故や怪我がなく、全ての事業を終了することができました。小規模での活動をメインとしているため、スタッフをはじめ保護者・ボランティア・関係者の協力無くしては活動の継続はありえませんでした、この場を借りてお礼を申し上げます。

主催事業に関しては卒業卒園転勤などにより参加者が減少傾向なので、次年度は新規参加者の開拓・活動周知を目的としたプログラムを以前のように再開させます。またリピーターに向けて、新たな資源・ネットワーク・プログラムの開発をし、新鮮な驚きと喜びを届けられるようなコンテンツ構築にも力を注いでいきます。

受託事業に関しては幼稚園・保育園の体験活動支援事業が増加しており、今後もこの傾向が続くと予想されます。現体制では対応できる日数に限りがあるため、次年度はスタッフ増員・外部委託も含めてニーズに合わせたプログラム提供ができる実施体制を整備することを目標に設定します。

小学校の総合学習などは外部機関との連携・人材育成事業とのマッチングを行い実施していきます。具体的には人材育成事業で関わりのある学生が実際の小学校に訪問し交流するなど、学生と子どもたち双方にとって学びと喜びのある実践の場を創出します。その後学生が自然体験活動への興味をより深くし、継続した関わりが産み出せるような場づくりを念頭に置いて活動を行っていきます。

この1年はこれから先の持続的かつ継続的な活動をするための体制づくりの一年であると位置づけ、参加者や関係者へ新たなアプローチをすることにもトライアルしていきます。今後の活動に関しても引き続き皆さんの理解とご協力、そしてアドバイスなどをいただければ幸いです。

2023年3月 代表 高野克也